

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/4 >

参考値

(データ集約 : 2/8)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年2月3日 12時25分 ~ 12時55分		平成24年2月3日 12時25分 ~ 12時55分		平成24年2月3日 13時15分 ~ 13時45分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	7.9E-04	0.40	1.0E-03	0.50	9.1E-05	0.05	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.1E-03	0.37	1.4E-03	0.47	1.2E-04	0.04	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/4 >

参考値

(データ集約: 2/8)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年2月3日 13時15分～13時45分		平成24年2月3日 9時30分～10時00分		平成24年2月3日 11時30分～12時00分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	3.0E-04	0.15	1.7E-05	0.01	1.1E-04	0.06	2E-03
Cs-137 (約30年)	4.1E-04	0.14	ND	-	1.2E-04	0.04	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 3/4 >

参考値

(データ集約 : 2/8)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部上部)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部2階付近)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部1階付近)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成24年2月3日 9時30分～10時00分	平成24年2月3日 9時30分～10時00分	平成24年2月3日 9時30分～10時00分	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	1.6E-05	0.01	1.6E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.6E-05	0.01	2.1E-05	0.01	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E - とは、 ． × 1 0 ˆ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約9E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約6E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 4/4 >

参考値

(データ集約: 2/8)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部北側 (下方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部北側 (横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉建屋前(南西側))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
	平成24年2月3日 10時40分～11時10分			平成24年2月3日 10時40分～11時10分			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	3.2E-05	0.02	4.5E-05	0.02	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	7.9E-05	0.03	6.1E-05	0.02	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。